



# ももの実

玉北中 校長だより 115

「新年を迎えたよ。」号

令和8年2月6日（金）

3学期が始まったよ。

1月7日（水）には、**始業式**（遠隔にて実施）が行われました。私（石井）は、3学期が始まるにあたって、次のような話をしました。（一部抜粋）

おはようございます。新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお祈りします。

皆さんはどのように冬休みを過ごしたでしょうか？私は冬休み期間には、毎年、実家の木々の剪定や田畑の草刈りをします。剪定とは樹木の不要な枝を切り落として形を整え、日当たりや風通しを良くしたりする作業のことです。植物の成長が止まる冬場が最適の季節とされています。

剪定は、いきなり枝を切るところから始めるのではなく、まずは切りたい木から少し離れて全体を眺めます。最初に「どんな形の木にしたいか」という目標を定めなければ、どこの枝をどれだけ切ればよいかが分からないからです。全体像が決まったら木に近づき、脚立や電動のバリカン、剪定はさみ等を使って枝切りを始めます。しかし、ずっと木の近くで、目の前の枝ばかりに集中しすぎると、一部分だけを切りすぎてしまい、気が付かないうちに木全体のバランスが崩れて、かっこ悪くなることがあります。だからこそ、時々切るとして、木から離れて再び「木全体を見る」ことが必要となります。そして、枝を切る作業を再開するのです。剪定作業はこれらの繰り返しとなります。因みに私の実家は、自然豊かな地域にあります。途中、よく近所の方々が「りょうちゃん、がんばりょうるな〜。最近お母さんはどうしょうる？」「りょうちゃんやりょうるな〜。この木は〇〇した方がええで〜。」等と声を掛けてくれます。そうした客観的なアドバイスは、自分自身では気づかない視点を教えてくれる貴重な機会となります。

この作業は、具体的なめあてや目標を立て、それに向けて日々学習活動を進め、授業の中で、そして「1UPシート」を記入する場面で、客観的に目標に対する取り組み、そして達成度の振り返りを重ねて行っている皆さんの生活についても、似たようなところがあると思います。

新年を迎え、これまでの反省をもとに、新たな目標を設定する人もいるでしょう。今後も目標とそれに向けての活動を定期的に、そして客観的に振りかえることを大切にしてほしいと思います。

今の時期に剪定された木は、本当に大切な枝に栄養がいきわたるようになり、春にはかわいらしい花を咲かせ、勢いよく新芽を伸ばします。皆さんには自分という木を丁寧に見つめ、整えて、最高の状態で次の環境へ進んでいくことができるよう期待しています。

今日から3学期です！！1・2年生の登校日は50日あまりで、3年生にとっては受験日もあり、さらに少なく、玉北中でのとても貴重な時間を過ごすこととなります。3学期は次のステージのためのゼロ学期と言われていています。これまでの学びの定着度を確認して進学・就職・進級と次への準備を行う大切な時期です。残された時間を大切にしてほしいと思います。

最後に皆さんの貴重な学びを止めないためにも、引き続き、「場に応じたマスクの着用」「手洗い・うがい」「換気」「咳エチケット」などの対策を継続してください。



中学校生活最後の・・・。

12月23日（火）には、**3年生で球技大会**が行われました。晴天に恵まれたグラウンドでは、女子チームが体育の授業で学習した**ティーボール**に、そして体育館では男子チームが**ドッジボール**競技に臨みました。寒い中、グラウンドや体育館には、クラスメイトに大きな声援をおくっている生徒の姿が見られました。今回が3年生にとっては中学校最後のクラスマッチとなります。思い出となる1日になったのではないのでしょうか。次におもな戦績を紹介します。

**ティーボール：1位：1組，2位：5組，3位：7組**

**ドッジボール：1位：6組，2位：2組，3位：4組**

